

大東建託 ディスクロージャー優良企業選定受賞に寄せて

大東建託株式会社 代表取締役社長CEO 熊 切 直 美

1. 受賞の感想

この度は「ディスクロージャー優良企業」にご選定いただき、誠にありがとうございます。今回で7回連続通算8回目の受賞となりましたが、経営の透明性を経営基本方針の1つとしている当社にとって大きな荣誉、身に余る光栄であり、関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。今後とも公平・公正かつ適切な情報開示と、皆さまとの積極的な対話に努める所存でございます。

2. 当社のIR活動

今年度の評価項目を改めて拝見いたしますと、特に「説明会等」、「フェア・ディスクロージャー」、「コーポレートガバナンス関連」について高い評価をいただくことができましたので、少し活動内容について述べさせていただきます。

まず「説明会等」に関してですが、四半期ごとの決算説明会において、本決算と第2四半期はCEOである私、熊切が、第1四半期と第3四半期はCFOがご説明し、質疑応答にもCEOあるいはCFOの経営層が対応しています。更に、説明会にご参加頂けない投資家様・アナリスト様向けに、資料公開・音声配信に加えて質疑応答の要旨をウェブサイト上で開示しています。

「フェア・ディスクロージャー」につきましては、外国人株主比率57%という当社の特徴的な株主構成を意識して日本語・英語による公平な情報提供に努めるとともに、月次受注高や入居率等主要な指標を1992年より継続的に開示しております。また、昨今においては賃貸住宅の空室率が注目されているため、これまでの家賃ベースの入居率に

加え、件数ベースでの入居率を新たに開示するなど、投資家様が求めている指標を適宜開示しています。

また、「コーポレートガバナンス関連」ですが、当社では、筆頭独立社外取締役が委員長を務め、社外取締役、社外監査役、代表取締役で構成される「ガバナンス委員会」が業務執行取締役の評価・選任・推薦を行っております。主要経営指標であるROEにつきましては20%以上を継続しつつ30%以上を目標に取り組んでおり、最重要経営課題として認識している株主還元は、総還元性向80%（配当性向50%+大きな資金需要のない限り自己株式の取得・消却30%）を継続して参ります。

今日では、投資家様から求められる事項は多岐に渡り「業績さえ良ければ良い。」ということでは無くなってきています。ご好評いただいている現場見学会などの事業理解を促進する取組みを継続しつつ、投資家様の関心の高いESGに関する非財務情報の積極的な開示にも努めてまいります。

3. 証券アナリストに期待すること

今後も、業績進展にまい進するとともに、当社はステークホルダーの皆さまとの積極的な対話を継続し、より一層の企業価値向上に努めます。つきましては、アナリストの皆さまにはさらなる発展のために中長期的な視点から企業価値の向上に繋がる分析・アドバイスを頂戴できればと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。